

容器変更に伴う採取方法および 抽出方法の変更のお知らせ

ISO15189:2012
認定取得

2025年2月

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、顆粒球エラスターゼの容器変更に伴い、抽出方法についても変更させていただきます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。



敬白

記

容器の変更（顆粒球エラスターゼ）：No.64

● 移行開始期日：2025年2月末頃から順次変更させていただきます。

● 変更内容：容器の変更は「お知らせ OSF-80-2439 容器変更 顆粒球エラスターゼ」でご連絡させていただいております。

| 項目コード | 項目名称 | 新容器 | 現行容器 |
|-------|------------------------|---|---|
| 9617 | 顆粒球エラスターゼ (容器No.64) |  |  |

検体採取及び抽出方法は裏面をご覧ください

■ お問い合わせ、ご意見、ご指摘、ご要望先

□ 株式会社 大阪血清微生物研究所

□ 株式会社 大阪細胞病理研究所

カスタマーセンター

本 社 (06) 6322-4531

奈良支社 (0744) 24-0530

田辺支社 (0739) 22-8740

(06) 7634-0360

■留意事項

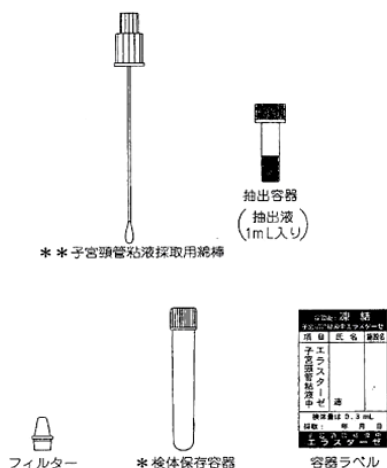
*綿棒変更に伴う測定値は、抽出方法の手技により、影響度が大きいことが確認されています。

*現綿棒(変更前)と新綿棒(変更後)を使用しての抽出では手技が異なりますので、採取の都度、抽出方法をご確認のうえ採取、抽出をお願い致します。

子宮頸管粘液検体採取及び抽出方法

子宮頸管粘液中顆粒球エラストラーゼ測定用
エラスペック アシスト
(イノテック・エラストラーゼ用検体採取器具)

要冷蔵(2~8℃)



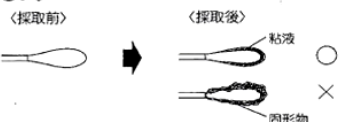
1

検体採取方法

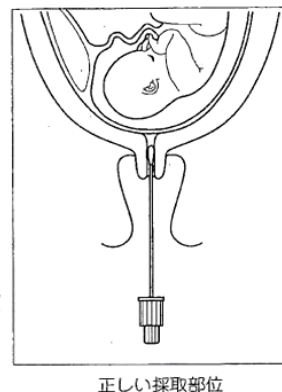
- ①子宮腔部の粘液を綿球で丁寧に拭き取ります。
- ②綿棒を子宮頸管内腔に挿入します。
- ③綿棒をゆっくりと2回転させ、頸管粘液(滲出液)を採取します。

■注意事項

- 1)子宮頸管部より採取して下さい。
- 2)検体採取は陰部洗浄前に行って下さい。
- 3)綿棒が外子宮口周辺の分泌物や粘液に接触しないようにして下さい。
綿棒の先が初めて接触する部分が頸管内腔であるように挿入して下さい。
- 4)綿棒1回転あたり約5秒をかけ、自然に粘液(滲出液)をしみ込ませるようにして下さい。
少量の固形物が付着した場合には、ピンセット等で取り除いて下さい。又、大量の固形物が付着した場合には、検体採取をやり直して下さい。



- 5)採取した検体は15分以内に抽出操作を行って下さい。



HE-8

2

**抽出方法

